

ヘイトクライムとは、ある特徴を持つ人への全体あるいは特定の部分に対する偏見によって行われる犯罪です。ニューヨーク州法によると、ヘイトクライムと特定するには潜在的な犯罪があるべきです。つまり、それは当局が最初に犯罪が発生したことを判断しなければならないということです。犯罪が差別によって行われたと判断されると、最初の刑に対してヘイトクライムが犯罪として扱われる可能性があるのです。

こうした強化された罰則があるのは、どんな犯罪も被害者にマイナスの影響を与えますが、ヘイトクライムの被害者は、更に深く心情的影響を受け、影響はさらに広がって、被害者と共通の特徴をもつコミュニティに恐怖をあたえるのです。偏見の意図を含む多くの潜在的犯罪があり、肉体的暴行、言葉による脅迫、窃盗、盗難、グラフィティなどの所有物のダメージなどは、ヘイトクライムと見なされます。

ニューヨーク法はまた嫌がらせや脅しの目的で歴史を物語る、まんじや縄をつけた者に対しても特特定の措置を行い、悪質のハラスメントとして起訴することもできます。

ヘイトクライムの例

- ✓ 電車の乗客が「ゲイは嫌いだ」と言って手をつないでいる同性のカップルに殴ると脅迫する。
- ✓ 10代のグループが建物にペンキスプレーでまんじを書いたり、木に縄を吊るす。
- ✓ 通りすがりに誰かの顔に唾をはきかけて「お前たちアジア人がコロナウイルスを拡散している」と叫ぶ。

ニューヨーク犯罪法で認知されるグループにはどんなものがありますか。

ニューヨーク州法は、差別による犯罪を判断する際に、以下のカテゴリーを配慮します。

- 人種または肌の色
- 祖先または出身地
- 性自認または表現
- 宗教または宗教的行為
- 性別
- 障害
- 性志向
- 年齢

潜在的犯罪がない場合はどうなりますか。

潜在的な犯罪がなくても偏見やヘイトによる犠牲になりえます。偏見による事件は、あなたのアイデンティティに対する言葉によるいやがらせや差別であり、肉体的攻撃、攻撃するとの脅し、所有物の破壊は含まれません。

偏見による事件は、差別の例として深刻に見なされますが、必ずしも犯罪ではありません。偏見による事件は、憲法の改正により発言の自由として見なされることがあります。その他の事件は、人権に関する NYC 委員会により管理される NYC 人権法によりニューヨーク市で民事法で扱われる場合もあります。

差別の事例

- ✓ 通りでラティノとすれ違った誰かが「メキシカンは大嫌いだ」「国に帰れ」と叫んだ場合。
- ✓ ティーンエイジャーのグループが黒人のティーンエイジャーに「N」のつく言葉をかけた場合。
- ✓ レストランのオーナーがターバンをつけたお客さんに対し「イスラム教徒は歓迎しない」と言った場合。

どうすべきですか ...

... ヘイトスピーチやまんじのようなヘイトシンボルを含むグラフィティを見つけた場合。

グラフィティはニューヨークでは犯罪で、ヘイトスピーチまたはヘイトシンボルを含むグラフィティは、ヘイトクライムと判断されます。まんじと縄が一番よくあるヘイトのシンボルです。

ヘイトスピーチまたはヘイトシンボルを含むグラフィティを見つけたら 911 にダイヤルして“hate crime” と伝える。警察官と情報を共有するためにグラフィティの写真があれば役立ちます。

... 白人至上主義グループを助長するようなステッカーや、ちらしを電柱に見つけた場合。

ステッカー、ちらし、ポスターは最初の憲法改正で保護され、ヘイトクライムと見なされませんが、差別的なメッセージはレポートしてください。

ちらしに、まんじや縄などの画像が含まれる場合、それを拡散した人が罪に問われることもありうるので、交番に届けなければなりません。

... 誰かが私に差別的な言葉を発しながら肉体的脅しをした場合。

実際に接触がなくても肉体的脅しは、犯罪とみなされます。誰かが偏見的な言葉を伴う肉体的脅しを行えば、ヘイトクライムと見なされます。

誰かが「アジア人の顔を殴ってやる」と叫んだら、実際に被害者に接触する前でもヘイトクライムと見なされるので 911 に電話するか、または交番に事件を通報しなければなりません。

... 誰かが私のアイデンティティに対し口頭で嫌がらせをしたが脅しや接触はなかった場合。

誰かが、あなたの人種、出身地、性別、性志向、性自認、障害、その他の保護事項によって嫌がらせをした場合、差別的ハラスメントと見なされるので、311 にダイヤルして“human rights” と伝えるか、NYC の人権委員会 (CCHR) に偏見事件を通報してください。

ハラスメントが差別的なものか、アイデンティティに関わるものかはっきりしない場合でも、CCHR に電話をかけたリメールを送れば、あなたの権利の所在を確認したり、苦情申し立ての方法をサポートしてもらえます。

... 自分の体験がヘイトクライムか偏見による事件かはっきりしない場合。

肉体的に傷つけられたり、傷つけると脅迫された場合は 911 にダイヤルしてください。遠慮せずに 311 か、または、911 あるいは両方の番号に電話してください。

311 または 911 のいずれに電話しても、通報はしるべき部門に転送されます。どの番号にダイヤルするかより、事件を通報することが大切です。

発生した事件

差別事件

ヘイトクライム

どうすべきですか。

311 にダイヤルして“HUMAN RIGHTS” 言うか、または [CCHR'S WEBSITE](#) で差別報告書を送信する。

11 にダイヤルして“HATE CRIME” と言うか、または地域の交番に電話する。

次にどうなりますか？

CCHR スタッフに繋いでもらい、ケースの調査が行われる、または苦情通知の仕方を教えてもらいます。

オペレータに繋いでもらい、警察官を出動させるか判断するために詳細を聞かれます。言語サポートがあり、移民手続き状況については尋ねられません。